

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない

① いのちを大切にする心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 道徳・心の教育の充実																																								
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）																																								
<table border="1"> <caption>Item 1: Responses by Group</caption> <thead> <tr><th>Group</th><th>Red (14%)</th><th>Orange (71%)</th><th>Green (12%)</th><th>Blue (3%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>14%</td><td>71%</td><td>12%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>31%</td><td>57%</td><td>10%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>29%</td><td>71%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Group	Red (14%)	Orange (71%)	Green (12%)	Blue (3%)	保護者	14%	71%	12%	3%	生徒	31%	57%	10%	2%	教職員	29%	71%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 2: Responses by Group</caption> <thead> <tr><th>Group</th><th>Red (50%)</th><th>Orange (48%)</th><th>Green (2%)</th><th>Blue (0%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>50%</td><td>48%</td><td>2%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>73%</td><td>24%</td><td>3%</td><td>0%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>13%</td><td>83%</td><td>4%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Group	Red (50%)	Orange (48%)	Green (2%)	Blue (0%)	保護者	50%	48%	2%	0%	生徒	73%	24%	3%	0%	教職員	13%	83%	4%	0%
Group	Red (14%)	Orange (71%)	Green (12%)	Blue (3%)																																					
保護者	14%	71%	12%	3%																																					
生徒	31%	57%	10%	2%																																					
教職員	29%	71%	0%	0%																																					
Group	Red (50%)	Orange (48%)	Green (2%)	Blue (0%)																																					
保護者	50%	48%	2%	0%																																					
生徒	73%	24%	3%	0%																																					
教職員	13%	83%	4%	0%																																					
<p>【考察】「1 一人一人の児童生徒の尊重」において、保護者及び生徒における「4」「3」（肯定意見）の割合が昨年度（昨年度は保護者79%、生徒82%）と比較して微増している。本校職員の粘り強い取り組みが、少しずつ浸透してきていると考える。さらに「2 道徳・心の教育の充実」において、「4」「3」（肯定意見）と回答した保護者の割合が98%と高い数値を示していることから（昨年度は91%）同様のことが考えられる。</p>																																									

② 確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

3 授業力向上	4 タブレット端末活用																																								
先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。																																								
<table border="1"> <caption>Item 3: Responses by Group</caption> <thead> <tr><th>Group</th><th>Red (12%)</th><th>Orange (68%)</th><th>Green (17%)</th><th>Blue (3%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>12%</td><td>68%</td><td>17%</td><td>3%</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>21%</td><td>64%</td><td>13%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>33%</td><td>67%</td><td>0%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Group	Red (12%)	Orange (68%)	Green (17%)	Blue (3%)	保護者	12%	68%	17%	3%	生徒	21%	64%	13%	2%	教職員	33%	67%	0%	0%	<table border="1"> <caption>Item 4: Responses by Group</caption> <thead> <tr><th>Group</th><th>Red (33%)</th><th>Orange (47%)</th><th>Green (16%)</th><th>Blue (4%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>33%</td><td>47%</td><td>16%</td><td>4%</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>45%</td><td>44%</td><td>10%</td><td>1%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>29%</td><td>58%</td><td>13%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Group	Red (33%)	Orange (47%)	Green (16%)	Blue (4%)	保護者	33%	47%	16%	4%	生徒	45%	44%	10%	1%	教職員	29%	58%	13%	0%
Group	Red (12%)	Orange (68%)	Green (17%)	Blue (3%)																																					
保護者	12%	68%	17%	3%																																					
生徒	21%	64%	13%	2%																																					
教職員	33%	67%	0%	0%																																					
Group	Red (33%)	Orange (47%)	Green (16%)	Blue (4%)																																					
保護者	33%	47%	16%	4%																																					
生徒	45%	44%	10%	1%																																					
教職員	29%	58%	13%	0%																																					
<p>【考察】「3 授業力向上」において、保護者及び生徒の「4」「3」（肯定意見）の割合が増加している。この項目においては、昨年度から肯定意見が増加傾向にある。対面授業や班活動等、コロナ禍の学校生活において自粛していた授業形態等に、再び取り組むことができるようになったことが要因のひとつであると考えられる。「4 タブレット端末活用」においては、昨年度と同程度の高い数値である。</p>																																									

③ 教員が子どもと向き合うための体制の整備

5 学校の支援体制	6 共生社会を担う人材の育成																																			
学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。	学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。																																			
<table border="1"> <caption>Item 5: Responses by Group</caption> <thead> <tr><th>Group</th><th>Red (14%)</th><th>Orange (69%)</th><th>Green (12%)</th><th>Blue (5%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>14%</td><td>69%</td><td>12%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>29%</td><td>58%</td><td>13%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Group	Red (14%)	Orange (69%)	Green (12%)	Blue (5%)	保護者	14%	69%	12%	5%	教職員	29%	58%	13%	0%	<table border="1"> <caption>Item 6: Responses by Group</caption> <thead> <tr><th>Group</th><th>Red (9%)</th><th>Orange (76%)</th><th>Green (13%)</th><th>Blue (2%)</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>保護者</td><td>9%</td><td>76%</td><td>13%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>生徒</td><td>45%</td><td>47%</td><td>6%</td><td>2%</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>17%</td><td>75%</td><td>8%</td><td>0%</td></tr> </tbody> </table>	Group	Red (9%)	Orange (76%)	Green (13%)	Blue (2%)	保護者	9%	76%	13%	2%	生徒	45%	47%	6%	2%	教職員	17%	75%	8%	0%
Group	Red (14%)	Orange (69%)	Green (12%)	Blue (5%)																																
保護者	14%	69%	12%	5%																																
教職員	29%	58%	13%	0%																																
Group	Red (9%)	Orange (76%)	Green (13%)	Blue (2%)																																
保護者	9%	76%	13%	2%																																
生徒	45%	47%	6%	2%																																
教職員	17%	75%	8%	0%																																
<p>【考察】「5 学校の支援体制」において、教職員の「2」（否定意見）が微増している（昨年度4%に対して、今年度は13%）。一方、「6 共生社会を担う人材の育成」において、生徒の「4」「3」（肯定意見）は増加している（昨年度84%に対して本年度は92%）。交流及び共同学習の機会が増えてきていることに伴い、生徒はその効果や楽しさを感じている一方で、職員はその際の留意点等の共通理解を図る必要がある。</p>																																				

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力																																			
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。																																			
<table border="1"> <caption>7 安全と事故防止の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う (赤)</th> <th>どちらかといえば、そう思う (オレンジ)</th> <th>どちらかといえば、そう思わない (緑)</th> <th>そう思わない (青)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>19%</td> <td>69%</td> <td>9%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>65%</td> <td>32%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>25%</td> <td>75%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)	保護者	19%	69%	9%	3%	生徒	65%	32%	3%	0%	教職員	25%	75%	0%	0%	<table border="1"> <caption>8 家庭や地域との連携協力の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う (赤)</th> <th>どちらかといえば、そう思う (オレンジ)</th> <th>どちらかといえば、そう思わない (緑)</th> <th>そう思わない (青)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>60%</td> <td>15%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>25%</td> <td>71%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)	保護者	20%	60%	15%	4%	教職員	25%	71%	4%	0%
対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)																																
保護者	19%	69%	9%	3%																																
生徒	65%	32%	3%	0%																																
教職員	25%	75%	0%	0%																																
対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)																																
保護者	20%	60%	15%	4%																																
教職員	25%	71%	4%	0%																																
<p>【考察】「7 安全と事故防止」においては、肯定意見、否定意見ともに、3者の割合は昨年度と同程度である。「8 家庭や地域との連携協力」においては、保護者の「4」「3」（肯定意見）の割合が、昨年度72%に対して本年度は80%と増加している。これは、有観客での体育大会や文化発表会、制限を設けない授業参観や学級懇談会を実施できたことが要因のひとつであると考え。今後も継続していきたい。</p>																																				

⑤ 豊かな心をはぐくむ教育の推進

9 仲間づくり	10 仲間意識・自己有用感																																								
生徒たちは、友達と仲良くしていると思いますか。（友達と仲良くしていますか。）	桜木中学校は、行事や各種活動を通して、仲間意識や自己有用感を高めていると思いますか。																																								
<table border="1"> <caption>9 仲間づくりの回答割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う (赤)</th> <th>どちらかといえば、そう思う (オレンジ)</th> <th>どちらかといえば、そう思わない (緑)</th> <th>そう思わない (青)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>50%</td> <td>48%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>73%</td> <td>24%</td> <td>3%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>13%</td> <td>83%</td> <td>4%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)	保護者	50%	48%	2%	0%	生徒	73%	24%	3%	0%	教職員	13%	83%	4%	0%	<table border="1"> <caption>10 仲間意識・自己有用感の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う (赤)</th> <th>どちらかといえば、そう思う (オレンジ)</th> <th>どちらかといえば、そう思わない (緑)</th> <th>そう思わない (青)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>20%</td> <td>60%</td> <td>16%</td> <td>4%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>30%</td> <td>55%</td> <td>12%</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>46%</td> <td>54%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)	保護者	20%	60%	16%	4%	生徒	30%	55%	12%	3%	教職員	46%	54%	0%	0%
対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)																																					
保護者	50%	48%	2%	0%																																					
生徒	73%	24%	3%	0%																																					
教職員	13%	83%	4%	0%																																					
対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)																																					
保護者	20%	60%	16%	4%																																					
生徒	30%	55%	12%	3%																																					
教職員	46%	54%	0%	0%																																					
<p>【考察】「9 仲間づくり」においては、保護者の「4」「3」（肯定意見）が微増している（昨年度91%に対して本年度は98%）。また、「10 仲間意識・自己有用感」においても保護者及び生徒の「4」「3」（肯定意見）が微増している。この結果も体育大会や合唱コンクール等の行事を各種の制限を設けずに取り組んだ結果であると考え。一方で、そのような取り組みを苦手と感じている生徒への配慮も今後の課題である。</p>																																									

⑥ 確かな学力をはぐくむ教育の推進

⑦ 健やかな体をはぐくむ教育の推進

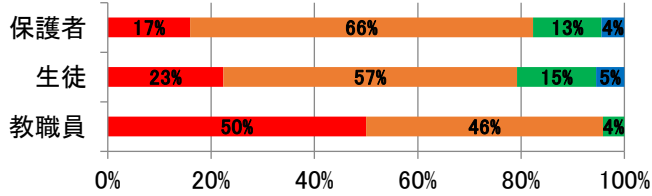
11 学習意欲	12 健康づくり																																								
生徒たちは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。（意欲的に授業を受けていますか。）	生徒たちは、好き嫌いなく食事をし、適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。（していますか。）																																								
<table border="1"> <caption>11 学習意欲の回答割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う (赤)</th> <th>どちらかといえば、そう思う (オレンジ)</th> <th>どちらかといえば、そう思わない (緑)</th> <th>そう思わない (青)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>27%</td> <td>54%</td> <td>19%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>33%</td> <td>56%</td> <td>11%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>4%</td> <td>83%</td> <td>13%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)	保護者	27%	54%	19%	1%	生徒	33%	56%	11%	0%	教職員	4%	83%	13%	0%	<table border="1"> <caption>12 健康づくりの回答割合</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>そう思う (赤)</th> <th>どちらかといえば、そう思う (オレンジ)</th> <th>どちらかといえば、そう思わない (緑)</th> <th>そう思わない (青)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>28%</td> <td>52%</td> <td>19%</td> <td>1%</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>35%</td> <td>42%</td> <td>18%</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>38%</td> <td>54%</td> <td>8%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)	保護者	28%	52%	19%	1%	生徒	35%	42%	18%	5%	教職員	38%	54%	8%	0%
対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)																																					
保護者	27%	54%	19%	1%																																					
生徒	33%	56%	11%	0%																																					
教職員	4%	83%	13%	0%																																					
対象者	そう思う (赤)	どちらかといえば、そう思う (オレンジ)	どちらかといえば、そう思わない (緑)	そう思わない (青)																																					
保護者	28%	52%	19%	1%																																					
生徒	35%	42%	18%	5%																																					
教職員	38%	54%	8%	0%																																					
<p>【考察】「11 学習意欲」においては、保護者及び生徒の「4」「3」（肯定意見）は微増しているものの、教職員の肯定意見はわずかに減少している。特に「4 そう思う」と回答した職員は激減している（昨年度22%に対して本年度は4%）。さらに、「12 健康づくり」においては、教職員の肯定意見は、昨年度67%に対して本年度は38%と、こちらも激減している。職員の生徒に対する期待感が大きいといえるのではなかろうか。</p>																																									

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない

⑧ いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

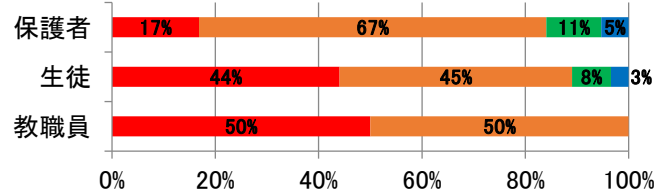
13 児童生徒理解

桜木中学校の先生方は、生徒の良さを見つけ生徒を理解しようと努めていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

桜木中学校では、いじめや問題があったときに、すぐ話を聞いて対応していると思いますか。

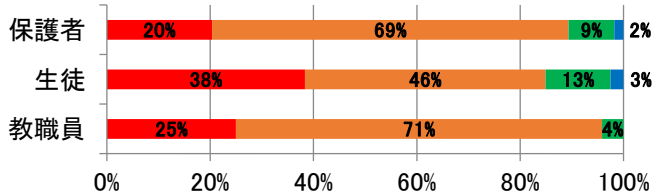


【考察】「13 児童生徒理解」において、生徒の「4」「3」（肯定意見）が微増している（昨年度73%に対して本年度は80%）。生徒の良さや頑張りを発見し、それらを認めていく活動を通して、生徒の自己有用感をますます高めていく必要がある。「14 いじめや問題への対応」においては、昨年度と同様、教職員の肯定意見は100%であるのに対し、保護者及び生徒はそうではない。継続性のある根気強い対応が求められる。

⑨ 最適な学習環境の整備

15 施設・設備の安全管理

桜木中学校の施設や設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

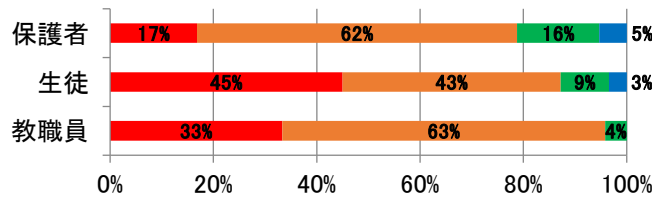


【考察】昨年度は、生徒昇降口天井のひび割れ改修（熊本地震で被災）や武道場の雨漏り補修工事等を行った。次年度は、トイレの入れ替え工事等も行われ、少しずつ生活環境の改善が進んでいる。

⑩ 本校の教育

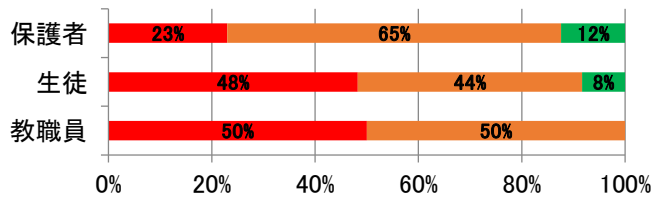
16 教育方針・教育目標

桜木中学校は、家庭に学校の教育方針や教育目標をわかりやすく示していると思いますか。



17 豊かな人権感覚

桜木中学校は、教育活動全体を通して、命を大切にし、豊かな人権感覚を持つ生徒の育成を行っていると思いますか。



【考察】「16 教育方針・教育目標」においては、3者ともに昨年度と同程度の割合である。学校通信や学級通信、安心安全メール等で発信はしているものの、保護者への通知徹底のために、さらなる創意工夫が必要であると考えられる。「17 豊かな人権感覚」においては、保護者及び生徒ともに肯定意見が微増している。職員は、肯定意見が100%であるので、引き続き継続した取り組みを継続していきたい。

来年度の具体的な取組について

ほとんどの項目において、保護者及び生徒の「4」「3」（肯定意見）の増加が現れた結果であった。これは、コロナ禍を徐々に抜け出し、以前の取り組みを参考にしながら、少しずつ新たな桜木中学校の行事を再構築・実践してきたことが大きな要因のひとつであると考えられる。本年度の学校評価・反省を踏まえながら来年度は以下の取り組みに注力していきたい。

○生徒一人一人と関わることで教職員の「時間」と「心身」の余裕を生み出す工夫

※今年度は毎週水曜日を「NO部活動DAY」とし、掃除もカットして放課後の時間を多く確保してきた。

来年度も継続していく。

○ICTを有効活用する授業の創意工夫と情報モラル教育の強化

○生徒の良さや頑張りを認め、生徒の事項有用感・自己効力感を育成する取り組みおよび教師の言葉かけ

学校関係者評価

○個人貸し出しのタブレット端末において、様々な課題があるだろうが、今は、あるいはこれからは、それらのICT端末は生活するうえで必須のアイテムである。このことを鑑みるとタブレット端末を持ち帰って学習に用いることは大切なことであると思う。ただし、スマホ等も含めて、それらの使い方は各家庭で決めておく必要があると思う。特に、スマホにおいては、子どもたちに持たせているのは保護者の責任の下なので生徒指導上の問題が発生したときには学校ではなく保護者が中心となって対応すべきではないか。

○「交流及び共同学習」において、班活動や話し合い活動ができるようになってきている今、生徒たちはその効果を感じているはずである。アンケートの文言が難しいので、説明を加えながら回答してもらおうとさらに肯定意見が増えるのではないか。

○地域で関わりのある子どもたちの中に、不登校状態に陥っている子どもがいる。ある時、「学校には行かないといけないの？」と聞かれたことがある。返答に窮してしまったが、どのように答えるべきなのか。今の世の中は、とても寛容な世の中なので「絶対行くべきだ。」とも言えず、かといって「行かなくてもいい。」とも言えなかった。学校の先生方も、大変であろうが、今後も、柔軟な対応で様々な状況にある子どもたちと接してもらいたい。